



2012-13 年度 R I のテーマ「奉仕を通じて平和を」
 R I 会長 田中 作次 (Peace Through Service)
 八戸南ロータリークラブ会報
 例会日：毎週木曜日 12：30 例会場：八戸パークホテル



ガバナー 松本 康子 会長 熊谷 道雄 幹事 伊藤 斉 会報委員長 山子 則男
 ホームページ：<http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/> Email：hsrclub@hi-net.ne.jp
 RI 第 2830 地区ホームページ：<http://www.rotary-aomori.org>

第 1824 回例会記録 国際奉仕委員会担当例会
 2013 年 2 月 28 日 (木) 点鐘 12：30

レポート NO.1270

1824 回例会要旨

- ・ 会長要件
- ・ 幹事報告
- ・ 各委員会報告 (出席、親睦)
- ・ 国際奉仕委員会担当例会

ビジター

杉本紀之様、大館一法様、柿崎隆雄様 (八戸東 RC)

会長要件 熊谷会長

皆さん大分陽気もよくなり身も心も軽くなったのか出席率が良くなった感じです。しかし入院なさる方が多く、皆様も季節の変わり目です。健康に気をつけてください。

今日は意外なところで聞いたロータリーの話題です。教育関係の講演で、講演の主は野村證券のエグゼクティブファイナンシャルプランナーの大前さん。タイトルは「経済と教育」です。強引に結びつけた感じですが、20 年前の護送船団方式。それが崩れた今、大きな舵取りをする人を育成できなかったと言う事でした。その話題の中で投資の話題が出てきました。その事例で、ハーバード大学と東京大学学長の年収の違い、何十倍もあるそうです。何が違うかと言うとお金の入り方が違うそうです。ハーバード大は学費が 20%。30%は基金の運用益があるそうで教授に見返りをだす事ができるそうです。また世界から素晴らしい頭脳を集め開発し、社会への貢献度は多大なものがあるそうで報酬も当然で、億の年収もあるそうです。それらの対比としてビックリしたのはロータリー財団の話でした。1 ページ全部、ロータリー財団、恒久基金の運用益のことでした。運用益を活動資金に当てているという紹介。聞いた人の多くはロータリー財団がわからない人たちでしたが、私としてはロータリーの啓蒙で、うれしかったです。

今日は国際奉仕担当例会ですが、山田委員長が療養中で急遽、先月次年度地区ロータリー財団委員長としてアメリカへ行き財団セミナーを受けて来た

出席報告 清川出席副委員長

正会員 44 名出席免除会員を除く
 会員 35 名中本日の例会は免除会員
 4 名を含む 28 名出席率 72%
 前々回例会：メキャップ 0 人出席率 74%



長嶺会員にその話しをして頂く予定です。よろしく
 お願いします。

幹事報告 伊藤幹事

- * 特に報告はありませんが、レターボックスに「ロータリーの友」入っています。
- * 3/21 夜例会の出欠を回覧しています。
- * 3 月 R レートは 92 円です。

ニコニコ・ボックス 伊藤幹事

熊谷会長：長嶺地区財団委員長今日はよろしく
 お願いします。

伊藤幹事：長嶺さん、今日はよろしく
 お願いします。

村上会員：長峰さんよろしく
 お願いします。

平光会員：長嶺地区財団委員長よろしく
 お願いします。

法官会員：大雪のニュースの中に春を感じます。卒業のシーズン到来。

国際奉仕委員会担当例会

長嶺次年度地区ロータリー財団委員長：

実は来週の規定審議委員会担当例会の時に話題がないので、1 月 17 日から 21 日の国際協議会出席の道中記を話す予定でした。急遽今日もと言われたので、今週と来週に分けて話します。バナー交換をして来ました。天童東 RC です。もう 1 つは次年度のテーマバナーです。メインテーブルに置いてください。

国際協議会の内容の方はインターネットにも載っています。画面を見ながら話します。【スライドで写真紹介】このようなホテルで結婚式場などのオールルーム、レストラン、部屋、プールです。ツインタワーが国際協議場の会議場でした。ロビー風景、

大きなロビーです。1月ですがプールで泳いでいる人もいました。

ホールルーム、本会議をやる場所で国際協議会は1,000人集まります。私の席は左端の奥でした。ミーティングルームも大会議室です。このような建物の中での国際協議会に参加してきました。



国際協議会とはガバナーエレクトの出席が義務付けられている研修会で、主に奉仕プロジェクト、会員増強、ロータリー財団、R Iの管理運営要件およびR Iテーマとロン・バートン会長エレクトの強調事項の発表も含まれ、このときに発表されます。参加者は限定されていて、R Iの会長、会長エレクト、理事、会長ノミニー、理事エレクト、理事ノミニー、事務総長、ガバナーエレクト、R I B I役員ノミニー、これはイングランドの役員です。そしてその他の指定された公式参加者並びにその配偶者となっています。今回、私は地区ロータリー財団委員長として、その他の指定された公式参加者の立場で行きました。

サンディエゴは時差17時間、飛行時間10時間ぐらいです。行った時の最高気温23で最低気温10。夏の気温の感じです。サンディエゴはメキシコとの国境へ車で30分位で行ける所で、基地の町、アメリカ太平洋艦隊の基地が有る軍港です。R Iのトラベルサービスは東日観光です。最初の予定では飛行機が行きはボーイング777で違うのですが、帰りが1週間ほど前から問題となったボーイング787でした。事故のニュースもあり、行く前から家族には心配するといけなさと内緒にしていました。アメリカも16日にはB787の運行がストップされました。行って代りの飛行機で帰ってきて、成田についたとき家に電話をしたら、東日観光から自宅にサンディエゴから無事飛行機が到着したと電話があったそうです。家内は「B787に乗る予定だったことは知っていたよ」と言われ、お互い無関心でなく

相手を思いやる気持ちがあったことが確認できてちょっとうれしかったです。

出発の1月17日。東日観光からは添乗員も付かず、渡されたのは空港内の地図を印刷した紙がはいっているだけで、自分で行ってという感じでした。今迄、添乗員のいない海外旅行へ行った事がないので不安だったのですが、財団で30人位行くと聞いていたので空港へ行くと一緒にしました。

成田を17:10に出発し、次差の関係でロサンゼルスへは17日の10:00に到着。入管チェックが厳しくて手間取りました。両手の指紋、眼球の写真など撮られているうちに一緒に来た人とはぐれてしまい、サンディエゴ行きの出発ロビーが少し離れたところにあり、一旦出なければならず、そこへの行き方も分らず10~15分くらいウロウロしていました。日本人のツアーコンダクターが観光客を迎えにきていたので、出発ロビーへの行き方を聞き無事行く事が出来ました。

出発ロビーに入りボディチェック。これが厳しくて円柱の中に入り、ズボンのベルトも取り、靴、靴下も脱いでX線チェックを受けました。これでやっと搭乗できると思い搭乗口に向かったのですが、入り組んでいて迷子となり、売店の人などに聞いて「あっち」と指差されていったら出発ロビーの入口の所に出てしまいました。しかし、ここで一緒に行った数人と出会い、みんなも初めてなので「ああでもない、こうでもない」と言いながら、もう一度出発ロビー入口から入り直し、裸足のX線ボディチェックを再度受けて搭乗口までたどり着きました。

17日13:30ロサンゼルス空港を出発しサンディエゴへ14:20着。50分間のフライトでした。続きは又来週にさせていただきます。

